

## 問題【国語】

連想ゲームになるように、( ) に当てはまる言葉を入れてみましょう。

- ・バナナといえば黄色、黄色といえばレモン
- ・レモンといえば(1)、(1)といえば梅干し
- ・梅干しといえば丸い、丸いといえばお皿
- ・お皿といえば固い、固いといえば(2)

## 豆知識 雑学コラム

### 奥が深い！連想ゲーム

コロナウイルスの感染拡大防止のために、外出の自粛をしている家庭もあることと思います。そして、家にいると、子どもたちがつついスマホやテレビでゲームをしてしまい、勉強が手につかず頭を抱えていらっしゃる親御さんも多いかもしれません。そんなときには、楽しく少し頭を使うような言葉遊びのゲームを試みるのはどうでしょうか？

そんな言葉遊びの中でもルールがわかりやすく、道具がいらず手軽にできるのが連想ゲームです。ルールは上の問題文のように、出てきた単語から連想できる言葉を続けていくというものです。昔、クイズ番組でやっていた「マジカルバナナ」というゲームだといえば、懐かしく思う人もいるかもしれません。今回はそんな連想ゲームについて掘り下げてみましょう。

連想していくときに大切なことは前に出た言葉を、「具体化」または「抽象化」ということです。「具体的なもの」とは、その言葉を聞いて同じものを想像できるもののことです。例えば、「果物が食べたい」と聞くとバナナを想像する人もいれば、リンゴを想像する人もいます。一方で「バナナが食べたい」と聞くと、リンゴのような他の果物を想像しないですね。つまり、「果物」という言葉より「バナナ」の方が「具体的なもの」といえます。

一方で「抽象化」とはあるものから他のものにも共通する特徴を取り出すことです。例えば、「バナナ」には「果物である」や「黄色である」という特徴があります。つまり、「バナナ」を「果物」と言い換えることで「抽象化した」といえます。連想ゲームをするときは、前に出てきた言葉からその特徴を取り出すこと(＝抽象化)と、前に出てきた言葉の特徴に当てはまるものを言うこと(＝具体化)を考えてやってみましょう。

さて、例えば、「日本といえば小さい」といったとします。これは抽象化していると言えるでしょうか。確かに、ロシアやアメリカと比べると日本は小さな国です。しかし、ドイツや韓国と比べると大きな国になります。実際、日本は世界の他の多くの国と比べると面積が広い国になります。そう考えると、「日本といえば小さい」は抽象化しているとは言えないですね。連想ゲームをするときには、こういう風に相手が正しく抽象化、具体化できていないときには、指摘してあげましょう。

「具体化」と「抽象化」は分かりやすい文章を書く上でも非常に重要な要素となります。小さいうちから気軽に連想ゲームで練習してみましょう。

## 【解答】

2. お皿(2) (1)は梅干し